

(公社) 日本都市計画学会関西支部 2023 年度 第1回フィールドワーク
「自然と共生する農ある都市をめざす食都神戸」 報告書

■趣旨

神戸市は、山と海に囲まれ、質の高い農水産物が生産されているポテンシャルを活用し、食でにぎわい食で人々が集うまちづくりを推進している。たとえば、生産者と消費者をつなげるマルシェ等の開催や、消費者が自ら耕し農に対する理解を得るなどのアーバンファーマリング事業が行われている。これは、フードプランニングと呼ばれる、近年欧米でよくみられる食料保障の観点からの都市計画や、人口減少期における土地利用計画・まちづくりに活かせる知見として注目すべきものである。

この都市戦略「食都神戸」について、神戸市から説明いただくとともに、戦略のもと実施・運営されているファーマーズマーケットやエディブルパークの視察を行った。

■開催要領

◇日時：2023年8月5日（日）9:00～12:00

◇場所：三宮ビル東館、東遊園地、北野エディブルヤード、平野コープ農園

◇参加者：一般12人、企画委員12人

◇内容：

- ・ 「食都神戸」事業の説明（神戸市経済観光局農水産課 長坂千枝課長）
- ・ KOBE FARMERS MARKET 見学・解説（有限会社 Lusie 小泉寛明氏）
- ・ 北野エディブルヤード見学・解説（有限会社 Lusie 小泉寛明氏）
- ・ 平野コープ農園見学・解説（有限会社 Lusie 小泉寛明氏）

■内容概要

◇ 「食都神戸」事業の説明（神戸市経済観光局農水産課 長坂千枝課長）

神戸市の農漁業都市としての特徴、食文化の活用、アーバンファーマリング事業などについて詳細な事例とともに説明いただいた。

◇ KOBE FARMERS MARKET 見学・解説（有限会社 Lusie 小泉寛明氏）

2015年にファーマーズマーケットを始めた経緯や、アメリカの先進事例を参考に工夫していること、農村から都会の関係性をつくることを目指していることなどについて説明いただいた。



◇ 北野エディブルヤード見学・解説（有限会社Lusie 小泉寛明氏）

元は学校の庭園で使われていなかった土地を5年間の実験で地域住民とエディブルヤードとして共同管理していること、ワインの専門家や農家とも連携した運営の仕組みなどについて説明いただいた。



◇ 平野コープ農園見学・解説（有限会社Lusie 小泉寛明氏）

市の実証実験として都市公園のなかでコミュニティのための農園を開設した経緯や、委託事業者（Lusie）から地域住民による組織へ運営を移行したこと、これからの課題などについて説明いただいた。



以上

企画・文責 新保 奈穂美（兵庫県立大学）
写真 大北志帆・新保奈穂美